

2017年度決算の概要



学校法人 関東学院

2017年度（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の本法人の収支決算は、以下のとおりになりました。

「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」は、学院各学校予算単位の決算を基に、私立学校法第47条第1項及び私立学校振興助成法第14条の規定に基づき定められた「学校法人会計基準」により作成したものです。

2017年度決算の状況と分析

2017年度決算を事業活動収支ベースで、2016年度と比較してみると次のようになります。

- 事業活動収入計 2016年度：195億3,900万円 → 2017年度：201億1,100万円（5億7,200万円増）
 - 事業活動支出計 2016年度：208億600万円 → 2017年度：199億7,000万円（8億3,600万円減）
 - 基本金組入前当年度収支差額 2016年度：△12億6,600万円 → 2017年度：1億4,200万円（支出超過から収入超過に転換）
- ※基本金組入前当年度収支差額： 従前の帰属収支差額に相当するもの。

2017年度決算における活動区分ごとの収支差額は、教育活動収支では学生生徒等納付金の増加はありましたが、2億6,400万円の支出超過となりました。教育活動外収支では8億5,900万円の収入超過になり、経常収支全体では5億9,500万円の収入超過となりました。なお、事業活動収入は予算比8億6,500万円増の201億1,100万円、事業活動支出は予算比2,000万円減の199億7,000万円となりました。この結果、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、予算より8億8,500万円の収支改善により、1億4,200万円の収入超過となりました。基本金組入額は11億7,900万円で、大学SCC館改修工事に係る組入れなどの固定資産の取得による第1号基本金のほか、第2号基本金として三春台校地再整備資金2,000万円の組み入れを行いました。

財務比率について、日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」より全国の医歯系を除く507大学法人の2016年度決算の平均値（以下、全国平均値）と本学院を比較した場合、以下のとおりです。

- ①人件費比率は55.5%で、前年度より3.2%減、全国平均値（53.6%）と比較すると1.9%高い。
- ②教育研究経費比率は35.2%で、前年度より1.2%減少、全国平均値（33.0%）と比較すると2.2%高い。
- ③事業活動収支差額比率は0.7%で、前年度より7.2%の増加、全国平均値（4.9%）と比較すると4.2%低い。
- ④純資産構成比率は87.5%で、前年度より1.1%減少し、全国平均値（87.6%）と比較すると0.1%低い。
- ⑤繰越収支差額構成比率は△7.8%で、全国平均値（△14.2%）と比較すると6.4%高い。
- ⑥流動比率は310.0%で、前年度より6.1%増加、全国平均値（252.2%）と比較すると57.8%高い。
- ⑦基本金比率は99.3%で、全国平均値（97.3%）と比較すると2.0%高い。

学校法人会計の特徴と企業会計との違い

営利を目的として経済活動を行う企業では、利益の最大化を図るためにどれだけ成果をあげたのか（どれだけ純資産を増やしたのか）が重要になります。それに対し非営利組織である学校法人では、永続的な教育研究活動を遂行することを目的として活動するため、組織が存続するための必要条件が維持されているか（期首の純資産額）が重要になり、収支均衡状況が保たれているかを確認することが必要になります。

「資金収支計算書」は、本法人の当該年度の諸活動にかかるすべての収入・支出、資金の動きを総額で明らかにしたもので、これは企業会計における「キャッシュフロー計算書」に相当するものです。損益には関わらない前受金、預り金受入収入などの資金収入や、固定資産取得時の資金支出などを含め、どのような活動で資金が増減したか、収入及び支出の顛末を明らかにする計算書です。

企業会計における「キャッシュフロー計算書」は、当期中の資金の増減を原因別にし、営業活動によるキャッシュフロー、投資活動によるキャッシュフロー、財務活動によるキャッシュフローの3つに区分して表示しますが、学校法人会計における「資金収支計算書」にはこのような区分がありません。それを補うものとして、教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その他の活動による資金収支の3つに区分して計算した「活動区分資金収支計算書」があります。これにより活動区分ごとの資金の流れが明らかになり、支払資金の収支差額が把握しやすくなっています。

「事業活動収支計算書」は、本法人の当該年度の事業活動を表す仕組みを担っており、企業会計でいうところの「損益計算書」にあたるものですが、その計算の仕組みに学校法人会計の特徴があります。

企業の「損益計算書」は、企業の経営成績を明らかにするため、当該会計期間におけるすべての収益及び費用を、営業利益に営業外損益を加減して経常利益を計算し、これに特別損益を加減して当期純利益を表示します。

学校法人会計における「事業活動収支計算書」では、収支を経常的なものと臨時的なものに分け、さらに経常的な収支を教育活動と教育外活動に、臨時的な収支は特別収支として区分し、それぞれの区分ごとに事業活動収入及び支出の状況を把握できるようにしています。また、学校法人会計の特徴でもある基本金の組入額は、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入前当年度収支差額の後ろに表示され、基本金組入前と基本金組入後の収支状況が読み取りやすくなっています。

「貸借対照表」は当該会計年度末時点（決算日）における資産・負債・正味財産を明らかにし、本法人の財政状態を表すものです。「貸借対照表」は、企業会計も学校法人会計もほぼ同じ構造ですが、企業会計では資産－負債＝純資産（資本金）となり、学校法人会計では資産－負債＝純資産（基本金＋繰越収支差額）となります。

学校法人会計における「基本金」は、企業会計の「資本金」とは全く異なるものです。「基本金」は学校法人が永続的な教育研究活動を遂行し、学校の機能を維持するための教育研究活動に必要な校地、校舎、機器備品、図書等を継続的に保持するために維持すべき資産（財源）です。基本的に固定資産などの取得金額になります。

このように、学校を運営し教育研究活動を円滑に遂行することを目的とする学校法人では、会計においても企業会計とは異なる特徴があります。

2017年度 事業活動収支計算書

2017年4月1日～2018年3月31日

(単位：円)

授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金、維持料、その他の納付金(学会費、学生保険等)が含まれています。

各学校の入学検定料と大学における編入試験等の試験料、センター試験実施手数料及び証明手数料等です。

学院各校のテーマ募金や、研究奨学金、学生の課外活動・教育活動等に対する寄付金です。

大学・中高・小学校・こども園の人件費、教育研究活動に要する経費等に対し、国や県から交付される補助金です。その他、施設型給付費、市補助金などの補助金も計上されます。

大学学生寮の寮費、各種講座受講料、外部から委託を受けた研究費の収入などです。

退職基金財団交付金、入学案内販売収入等、上記の科目のいずれにも該当しない収入がここに入ります。

専任教職員や非常勤講師、嘱託職員、役員、臨時職員などの給与、退職給与引当金繰入額です。

学生・教員の教育研究活動に要した諸経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、印刷製本費、賃借料、委託費などがあります。この他、事業活動収支計算書に特有なものとして、減価償却額が含まれています。

総務や人事、経理など法人業務に要した経費や、教職員の福利厚生費、学生募集に係る経費などが含まれています。

有価証券、特定資産、株式、預貯金からの利息、配当金、分配金等です。低金利水準のもとで、安全性と利回りを重視した、多様で効率の良い運用に努めました。

銀行からの借入金に対する利息です。

有価証券の売却に伴う差益です。

施設設備に対する補助金、寄付金等です。

有価証券の売却や、建物の取壊しに伴う差損です。

退職給与引当金特別繰入額等です。

事業活動収入から事業活動支出を差し引いたものであり、収支均衡の状態を示します。2017年度は約1億4,200万円の収入超過となりました。

固定資産(土地、建物、備品、図書など)の取得額と、将来の固定資産取得資金の組入額や特定目的(奨学事業・課外活動事業など基金)のための基本金組入額です。当年度は下記の組入れを行いました。

第1号基本金 大学(固定資産関係) 約4億7,000万円
各校(固定資産関係) 約6億9,600万円
法人(固定資産関係) 約 1,200万円

事業活動収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	14,719,443,000	14,520,240,213	199,202,787
手数料	393,213,000	411,812,200	△ 18,599,200
寄付金	103,727,000	555,374,096	△ 451,647,096
経常費等補助金	2,457,626,000	2,509,474,649	△ 51,848,649
付随事業収入	373,328,000	341,411,949	31,916,051
雑収入	614,687,000	807,282,986	△ 192,595,986
教育活動収入計	18,662,024,000	19,145,596,093	△ 483,572,093
事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	10,891,496,000	11,100,930,634	△ 209,434,634
教育研究経費	7,366,339,000	7,042,803,139	323,535,861
管理経費	1,236,751,000	1,262,921,201	△ 26,170,201
徴収不能額等	0	2,637,312	△ 2,637,312
教育活動支出計	19,494,586,000	19,409,292,286	85,293,714
教育活動収支差額	△ 832,562,000	△ 263,696,193	△ 568,865,807
教育活動外収入の部			
科目	予算	決算	差異
受取利息・配当金	482,337,000	864,477,816	△ 382,140,816
その他の教育活動外収入	0	130,038	△ 130,038
教育活動外収入計	482,337,000	864,607,854	△ 382,270,854
事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	6,051,000	6,051,324	△ 324
教育活動外支出計	6,051,000	6,051,324	△ 324
教育活動外収支差額	476,286,000	858,556,530	△ 382,270,530
経常収支差額	△ 356,276,000	594,860,337	△ 951,136,337
特別収入の部			
科目	予算	決算	差異
資産売却差額	9,280,000	13,690,238	△ 4,410,238
その他の特別収入	92,951,000	87,543,056	5,407,944
特別収入計	102,231,000	101,233,294	997,706
事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異
資産処分差額	13,968,000	63,136,129	△ 49,168,129
その他の特別支出	475,400,000	491,288,856	△ 15,888,856
特別支出計	489,368,000	554,424,985	△ 65,056,985
特別収支差額	△ 387,137,000	△ 453,191,691	66,054,691
[予備費]	(193,541,000)		
基本金組入前当年度収支差額	△ 743,413,000	141,668,646	△ 885,081,646
基本金組入額合計	△ 1,828,932,000	△ 1,178,692,365	△ 650,239,635
当年度収支差額	△ 2,572,345,000	△ 1,037,023,719	△ 1,535,321,281
前年度繰越収支差額	△ 7,489,900,964	△ 7,489,900,964	0
基本金取崩額	0	830,746	△ 830,746
翌年度繰越収支差額	△ 10,062,245,964	△ 8,526,093,937	△ 1,536,152,027
(参考)			
事業活動収入計	19,246,592,000	20,111,437,241	△ 864,845,241
事業活動支出計	19,990,005,000	19,969,768,595	20,236,405

2017年度 資金収支計算書

2017年4月1日～2018年3月31日

(単位：円)

資 金 収 入 の 部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	14,719,443,000	14,520,240,213	199,202,787
手数料収入	393,213,000	411,812,200	△ 18,599,200
寄付金収入	139,125,000	559,419,276	△ 420,294,276
補助金収入	2,493,509,000	2,565,509,649	△ 72,000,649
資産売却収入	5,000,000,000	9,635,889,440	△ 4,635,889,440
付随事業・収益事業収入	373,328,000	341,411,949	31,916,051
受取利息・配当金収入	482,337,000	864,477,816	△ 382,140,816
雑収入	614,687,000	734,811,739	△ 120,124,739
前受金収入	2,805,066,000	2,586,721,552	218,344,448
その他の収入	707,695,841	968,939,036	△ 261,243,195
資金収入調整勘定	△ 3,140,216,143	△ 3,301,776,785	161,560,642
前年度繰越支払資金	10,507,628,442	10,507,628,442	
収入の部合計	35,095,816,140	40,395,084,527	△ 5,299,268,387

有価証券売却収入で年間の売却額の合計です。

翌年度入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などの額です。

特定の目的のために積み立てた預金等の満期償還や貸付金、立替金等を受け入れたり回収したときの収入です。

当年度の収入として計上しましたが、資金は翌年度以降に受け入れるものや、前年度に前受金としてすでに資金を受け入れているものを差し引くことにより、当年度の資金の収入額を明らかにしています。

主な支出内容は、次の通りです。

- ・大学 金沢八景 SCC館改修工事
小田原 4・7・8号館、体育館改修工事
- ・中高 グレセット礼拝堂改修工事
- ・六浦中高 講堂椅子他更新工事
- ・のぼ園 園舎改修工事

主な支出内容は、次の通りです。

- ・大学 金沢八景 有線LANシステム
コンピューターシステム
- ・小学校 パイプオルガン

公社債、投資信託の年間購入額の合計及び退職給与引当特定資産、減価償却引当特定資産等への繰入額です。

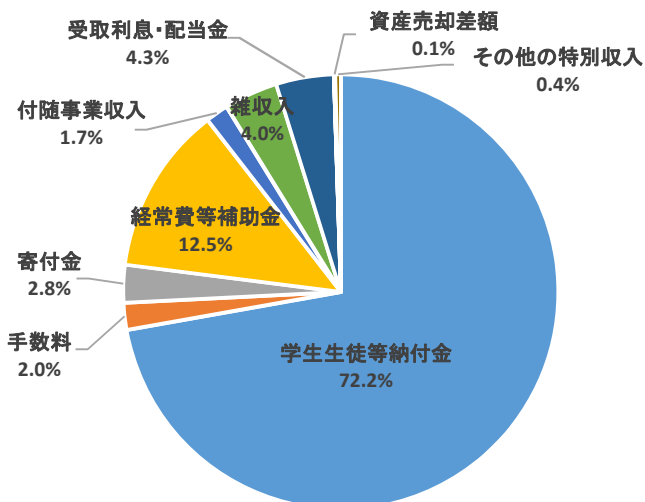
前年度中の活動に係る支出のうち、当年度に支払われた未払金の他、貸付金、前払金、立替金などの支出です。

当年度の支出として計上しましたが、翌年度に支払うものや、前年度に前払金としてすでに計上していたものを差し引くことにより、当年度の資金の支出額を明らかにしています。

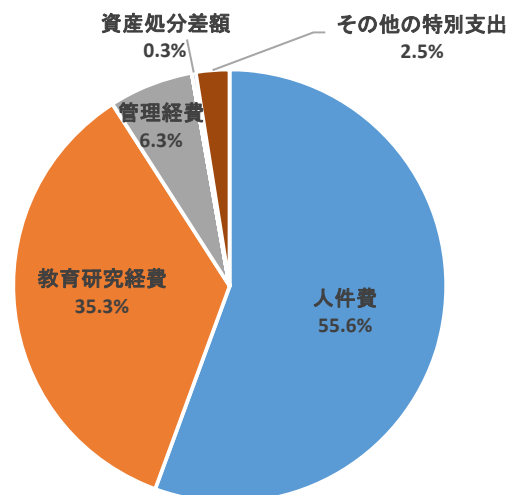
(単位：円)

資 金 支 出 の 部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	11,027,408,000	11,129,000,069	△ 101,592,069
教育研究経費支出	4,666,664,000	4,310,042,276	356,621,724
管理経費支出	1,221,198,000	1,260,833,514	△ 39,635,514
施設関係支出	3,514,555,000	2,220,669,315	1,293,885,685
設備関係支出	1,194,754,000	1,226,620,052	△ 31,866,052
資産運用支出	5,320,875,000	8,828,905,945	△ 3,508,030,945
その他の支出	1,233,627,119	1,296,434,756	△ 62,807,637
〔予備費〕	(193,541,000)		
資金支出調整勘定	△ 1,419,789,336	△ 2,247,679,964	827,890,628
翌年度繰越支払資金	8,336,524,357	12,370,258,564	△ 4,033,734,207
支出の部合計	35,095,816,140	40,395,084,527	△ 5,299,268,387

事業活動収入構成比率



事業活動支出構成比率



貸借対照表

2018年 3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	92,847,751,874	93,495,813,323	△ 648,061,449
有形固定資産	59,259,026,460	58,563,776,483	695,249,977
土地	14,218,220,649	14,218,220,649	0
建物	36,913,252,355	36,543,150,607	370,101,748
構築物	2,924,030,035	3,118,564,893	△ 194,534,858
教育研究用機器備品	2,632,042,074	2,032,727,907	599,314,167
図書	2,382,120,233	2,486,149,187	△ 104,028,954
その他	189,361,114	164,963,240	24,397,874
特定資産	15,035,410,350	14,441,878,014	593,532,336
第2号基本金引当特定資産	180,000,000	160,000,000	20,000,000
第3号基本金引当特定資産	1,452,670,000	1,452,670,000	0
その他特定資産	13,402,740,350	12,829,208,014	573,532,336
その他の固定資産	18,553,315,064	20,490,158,826	△ 1,936,843,762
有価証券	18,407,760,468	20,302,674,485	△ 1,894,914,017
長期貸付金	24,972,836	30,448,348	△ 5,475,512
その他	120,581,760	157,035,993	△ 36,454,233
流動資産	16,320,239,995	14,230,887,640	2,089,352,355
現金預金	12,370,258,564	10,507,628,442	1,862,630,122
未収入金	640,707,175	384,387,341	256,319,834
有価証券	3,112,889,330	3,143,591,299	△ 30,701,969
その他	196,384,926	195,280,558	1,104,368
資産の部合計	109,167,991,869	107,726,700,963	1,441,290,906

建物の主な増加分は、次の通りです。

- ・大学 金沢八景 SCC館改修工事
小田原 4・7・8号館、体育館改修工事
- ・中高 グレセット礼拝堂改修工事
- ・六浦中高 講堂椅子他更新工事
- ・のば園 園舎改修工事

構築物の主な増加分は、次の通りです。

- ・大学 金沢文庫 陸上競技場外周部人工芝化工事
歩道整備工事
- ・中高 里山緑化計画遊歩道工事
第2グラウンドフェンス設置工事
- ・六浦小 グランド防球ネット補修工事

退職給与引当特定資産、奨学基金引当特定資産、学院基金引当特定資産、減価償却引当特定資産です。

大学、短大、中高の貸与奨学金の貸付残高です。

(単位：円)

負 債 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	8,360,616,560	7,641,631,519	718,985,041
長期未払金	615,330,822	272,176,194	343,154,628
長期前受金	60,750	63,750	△ 3,000
退職給与引当金	7,745,224,988	7,369,391,575	375,833,413
流動負債	5,263,398,100	4,682,760,881	580,637,219
未払金	1,716,936,945	1,033,378,119	683,558,826
前受金	2,586,724,552	2,661,023,810	△ 74,299,258
預り金	959,736,603	988,358,952	△ 28,622,349
負債の部合計	13,624,014,660	12,324,392,400	1,299,622,260

退職給与引当金は、退職金規程による期末要支給額の100%を基に計算して計上しています。

「退職給与引当金の計上等に係る会計方針の統一について」(平成23年2月17日付け22高私参第11号文部科学省高等教育局私学部参事官通知)に基づく変更時差異4,754,010,527円について、平成23年度から10年で毎年度均等に繰り入れています。

土地、建物、構築物、機器備品及び図書等の固定資産の取得額です。

新たな学校の設置、既設の学校の規模の拡大、教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てる資産相当額です。本年度は、中高分として2,000万円を組入れました。

奨学金等の基金として継続的に保持し、運用する預金等の資産の額です。

事業活動計算書により算出される運転資金として恒常的に保持すべき資金の額です。

純 資 産 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	104,070,071,146	102,892,209,527	1,177,861,619
第1号基本金	101,312,401,146	100,154,539,527	1,157,861,619
第2号基本金	180,000,000	160,000,000	20,000,000
第3号基本金	1,452,670,000	1,452,670,000	0
第4号基本金	1,125,000,000	1,125,000,000	0
繰越収支差額	△ 8,526,093,937	△ 7,489,900,964	△ 1,036,192,973
翌年度繰越収支差額	△ 8,526,093,937	△ 7,489,900,964	△ 1,036,192,973
純資産の部合計	95,543,977,209	95,402,308,563	141,668,646
負債及び純資産の部合計	109,167,991,869	107,726,700,963	1,441,290,906